



国立病院機構宮城病院 地域医療連携室だより

かっせんはら100ばんち

MRガイド下集束超音波治療(FUS)特集号

＜宮城病院基本理念＞ 良い医療を安全に、心を込めて



集束超音波治療センターからの御礼とお願い

宮城病院に経頭蓋MRガイド下集束超音波治療（MR guided focused ultrasound surgery<MRgFUS>）機器が導入され、2年が経過しました。これまで多くの本態性振戦や振戦優位型パーキンソン病の患者様をご紹介いただきありがとうございます。治療件数は2021年12月で100例を超えました。第一例目が2020年8月ですので、1年4ヶ月での達成は他施設との比較でも驚異的な速さです。それだけニーズが多かったということですが、皆様方のご協力があったのものと感謝しております。

『良い医療を安全に、心を込めて』これは当院の基本理念ですが、FUSはこの2年間でも技術革新や経験の蓄積で更に良い治療手段となっており、また副作用の少なさから間違いなくより安全な手術といえます。各部署のスタッフが心を込めて関わった結果、皆様から感謝の言葉を多くいただいております。まさにFUSは当院の理念に即した治療と言えますので、今後とも多くの患者様をご紹介いただければと願っています。

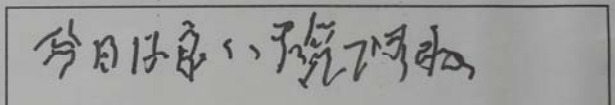
2022年7月 集束超音波治療センター長 安藤 肇史

*写真は治療前後を比較したものです。改善の程度を実感していただければ幸いです。

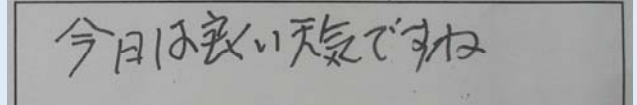
治療効果

(Aさん)

※ "今日は良い天気ですね"と書いてください

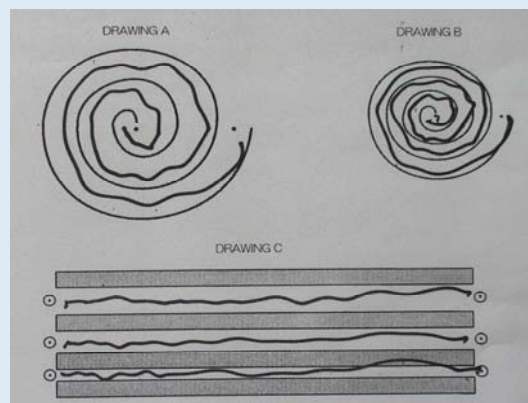
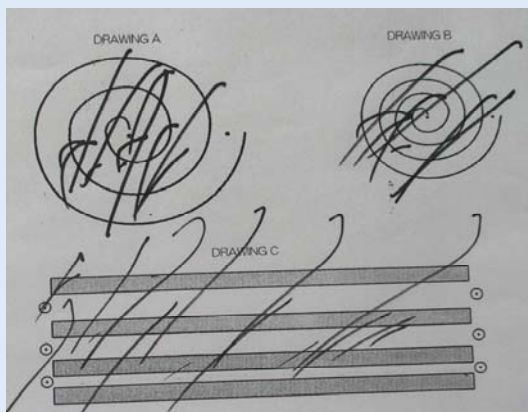


※ "今日は良い天気ですね"と書いてください



★ 箸を使って食事ができるようになりました

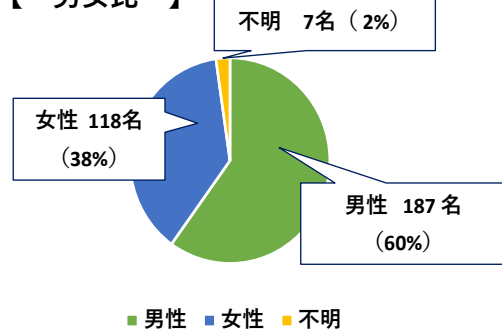
(Bさん)



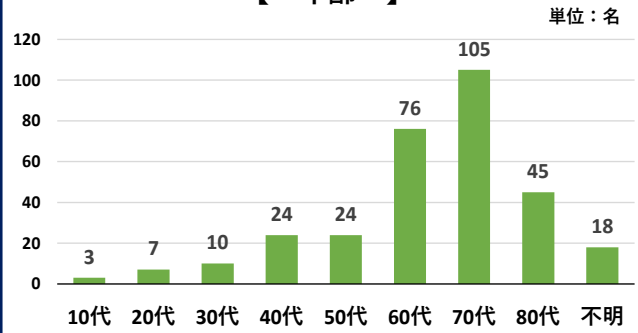
★ 利き手での食事ができるようになりました

FUS相談数 312件 (2020.7~2022.5)

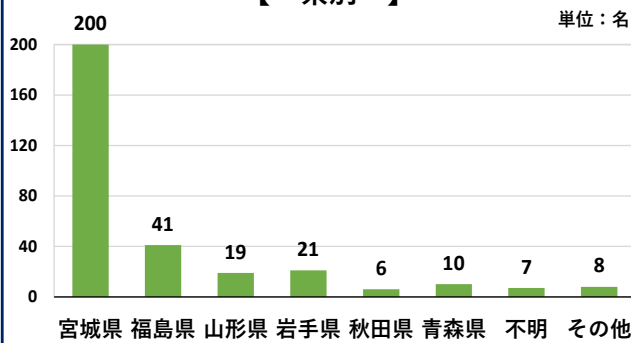
【 男女比 】



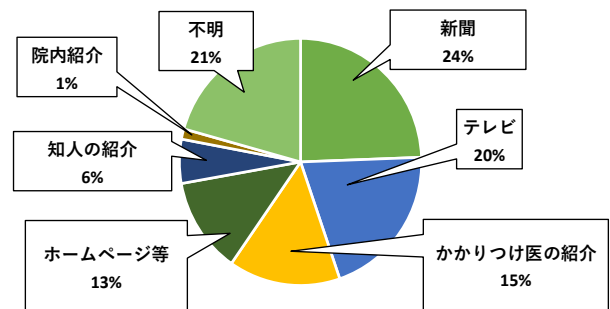
【 年齢 】



【 県別 】

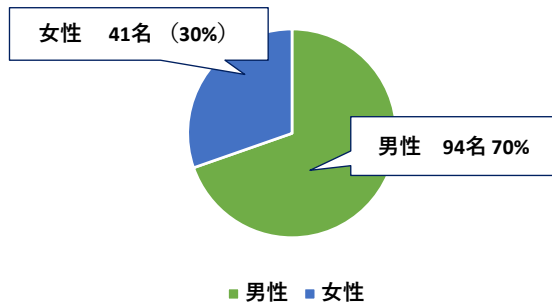


【 受診のきっかけ 】

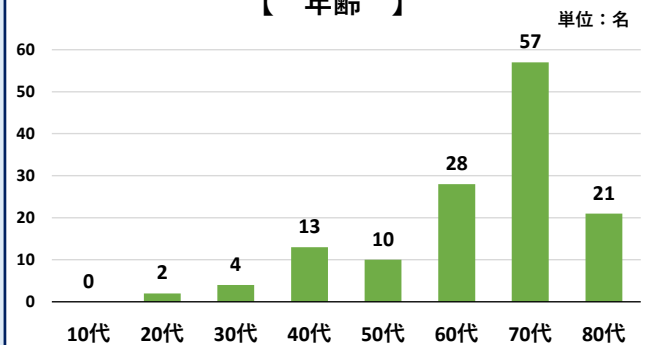


FUS治療実績 135件 (2020.7~2022.5)

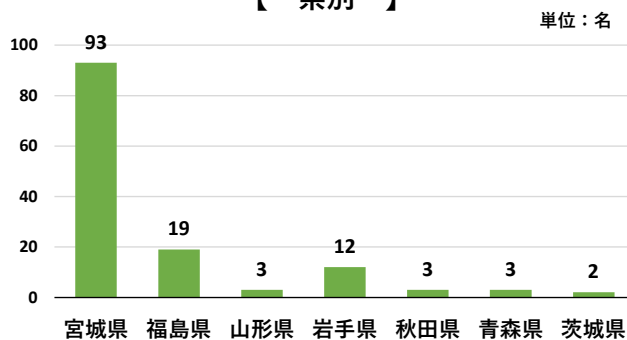
【 男女比 】



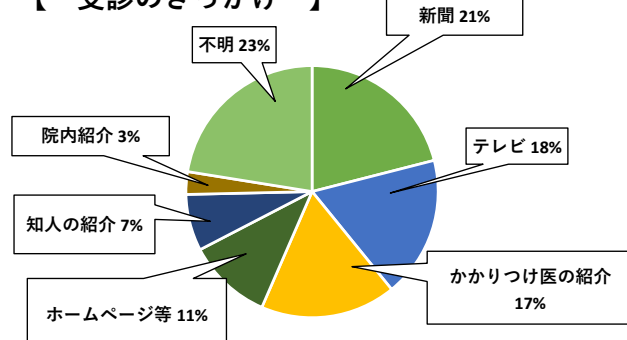
【 年齢 】



【 県別 】



【 受診のきっかけ 】



治療を受けた患者さんから

高校生の時からふるえの症状がありました。人前に出ると緊張して、右手だけじゃなくて上半身とか、声もふるえるようになって、症状がひどくなるばかりで。そのうち人前で話をするのが嫌になりました。ふるえるのは気のせいだとごまかしてきたけど、いい先生に診てもらって、本態性振戦の病名がついて安心しました。ちゃんとした病気なんだ、堂々としていいんだなって思って。

先生からはFUSを勧められたけど、その頃は他県でしかやっていなかったし、症状が落ち着いたから、治療しなくてもいいと思いました。ただ、年齢とともに症状は強くなってきて、良くなっていくものではないと思って治療を受けることを決めました。治療の最中からふるえが良くなっていくのを実感できたので、痛みにも耐えられました。

痛みは想像以上だったけれど、症状を気にして悩んでいる人がいるならば、「FUSを受けた方がいい」と言いたい。若い人で本態性振戦に悩んでいる人がいたら、ぜひ勧めたい。就職の時に絶対悩むだろうし、職業を選べなくなってしまうと思うので。自分は人前でプレゼンをするような仕事や人と接する仕事はできないと考えて、現場仕事を選びました。みんながみんな、自分みたいな選択は出来ないだろうし、人の視線に負けてしまうことだってあるから。若いと頭を剃ることに抵抗がある人もいるだろうけど、髪は生えてくるんだし、治療の結果は出るものだから「まずは受けてみる」と言いたいですね。

本態性振戦や、FUSの治療を知らない人はたくさんいるので、もっとたくさんの人に知ってもらって、ふるえに悩む人が減るといいですね。



(Cさん 20代)

6年くらい前に右足がしびれるようになって、気づくと右手がふるえるようになっていました。パーキンソン病の症状を薬で抑えていたけど、だんだんと症状が悪化してね。歩いていても、右手がふるえていて、ひどい時には上半身もふるえるようになって。FUSについてはテレビでみて知っていましたが、症状が進んだのと、握力が弱ってきたこと、細かい作業が難しくなって仕事にも支障が出るようになったので、治療することを決めました。

治療中に症状が変化していくのがわかりました。右足は2回の照射で、右手は回数を重ねていくうちにふるえがおさまっていきました。痛みだけを考えると2度とこの治療を受けるものかと思ってしまいますが、治療の効果が実感できたので、頑張ってた良かったと思っています。今まで悩んで、苦しんできたことがなくなったので。後遺症も心配しましたが、しびれが少し残るくらいで、それもだんだんと良くなると言われたので安心しました。

気になるところは頭かな。ここまで剃ってしまうとは思ってなかったのでびっくりしました。私はこのままの状態です。それだけの治療を受けてきたことを周りにも知ってほしいので。医療が進んで髪を剃らないで治療ができるようになったらとは思いますが。

ふるえで悩んでいる人のほとんどは自分で調べて、宮城病院にたどり着くのだと思う。たくさんの人に病気とこの治療を知ってもらいたいです。

(Dさん 60代)



部署紹介

地域医療連携室



地域医療連携室はFUS(集束超音波)治療センターの相談・予約の窓口です。看護師2名、MSW3名が所属しています。

かかりつけの先生からの外来予約の依頼や、患者さんからの受診の問い合わせ、症状や治療についての相談にお答えしています。数年前から症状を自覚しているがどうしたら良いかという相談もあり、受診につながるようお話ししています。また、FUS治療をより詳しく知りたいという方に対しては、入院中の生活も合わせてお話をするようにしています。ふるえについて気になることがありましたら、遠慮なくご連絡ください。

ふるえ外来では脳神経外科医師による診察を行っています。

症状の経過や治療歴、日常生活で困っていることなど細やかにお話をお伺いし、FUS治療の適応の有無について診断します。

FUSとはどのような治療なのか詳しく説明させていただき、可能な限り、疑問に思うことや不安なことにお答えするなど、患者さんの思いに寄り添った診療、看護を心がけております。

治療後の外来通院に際して、ふるえが改善し治療を受けて良かったと喜びの声を寄せて頂くことも多く、外来スタッフ一同嬉しく感じています。ふるえの症状でお困りのことがございましたらお気軽にご相談ください。

脳外科外来



中央4階病棟



中央4階病棟は、脳神経外科、脳神経内科、内科の混合病棟です。エレベーターホールや、病棟のホールからは緑豊かな自然と太平洋を望むことができます。

FUSを受ける患者様は、治療に対しての期待と不安な気持ちがあると思います。丁寧な説明を心がけ、患者様が不安なく治療に臨めるよう関わりますので、不明点は遠慮なくおっしゃってください。また術後に関しても、痛みや吐き気などの症状がある場合には我慢せずに看護師にお声掛けください。安全・安楽に入院生活を送ってもらえるようスタッフ一同努めてまいります。

放射線科

放射線科では、脳神経外科の先生が、ふるえの症状を改善し合併症が少なくFUS治療を行うために、MRIやCTなどの画像を用い正確な治療部位や温度を確認できるように最善を尽くしています。最近では、手術用ナビゲーションシステムも新規に導入し、様々な画像を駆使したより精度の高いFUS治療を目指しております。また、当院では、宮城県内でも数少ない日本磁気共鳴専門技術者の認定資格者がMRI検査を担当しており安心して検査、治療を行うことができます。



臨床工学技士

臨床工学技士は、主にFUS治療機器の保守整備を行っています。治療前日と当日の治療前に、機器の動作が正常か、出力と精度に異常がないか確認しています。また治療中は医師が治療に専念できるよう医療機器関係の操作や、生体情報モニタの監視を担っています。今年度から新たに手術ナビゲーションシステムが導入され、更なる治療精度の向上と副作用の低減が期待できます。振戦でお困りの方々が安心して治療が受けられる様、日々医療機器の安全管理に取り組んでいます。



手術室



私たち手術室スタッフは、看護師長を含め看護師4名です。手術を受けられる患者さんに寄り添い、心のこもった看護の提供を目指しております。FUSの治療を受けられる患者さんに対して、外来受診時に行う入院前面談では、現在の症状や経過について、日常生活で困っていることを聞いたり、入院や治療についての説明、不安や疑問に思うことなどのお話を聞かせてもらっております。入院中には術前訪問、術中の看護、術後訪問を行っています。当院で治療を受ける患者さんに少しでも安心して治療を受けていただけるように、日々の看護に取り組んでおります。

宮城病院『MRガイド下集束超音波治療(FUS)』予約について

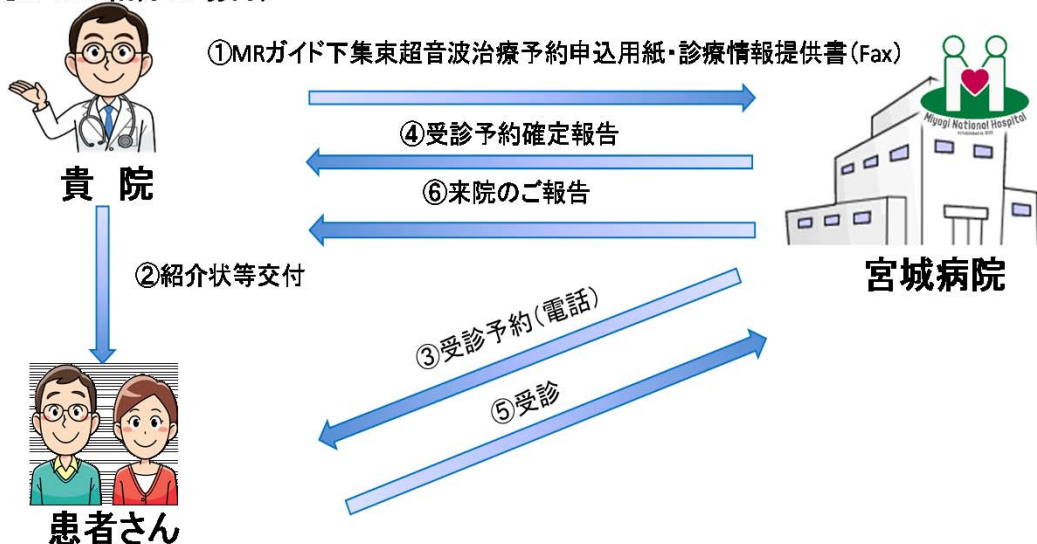
宮城病院FUS(集束超音波)治療センター 相談・予約窓口
地域医療連携室

★予約受付時間 平日 8:30~17:00

時間外、土日、祝日、年末年始は、翌診療日に対応いたします。

★診察予約の流れ

〈他院からの紹介の場合〉

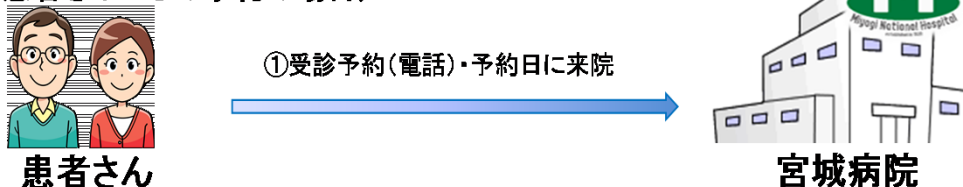


- ①宮城病院MRガイド下集束超音波治療予約申込用紙と紹介状(診療情報提供書)をFaxしてください。
- ②患者さんに紹介状、各種検査結果を渡してください。当院受診時には下記ご持参いただくものをご説明ください。

《ご説明後患者さんに帰宅していただいてかまいません》

- ③当院地域医療連携室から患者さんに直接連絡し受診予約日時を確定します。
- ④貴院へ受診予約確定報告をいたします。
- ⑤患者さんは受診予約日に当院へ来院してください。受診報告は後日郵送させていただきます。

〈直接患者さんからの予約の場合〉



- ①宮城病院地域医療連携室へご連絡ください。予約日を確定します。
- ②受診予約日に当院へ来院してください。

◎受診当日にご持参いただくもの◎

- ①紹介状(ご準備いただける場合)・各種検査結果
 - ②保険証
 - ③各種受給者証
 - ④お薬手帳
- ★不明な点は、相談・予約窓口(地域医療連携室)へお気軽にご相談ください。



宮城病院ホームページに
リンクします

【発行・編集】

独立行政法人国立病院機構宮城病院

地域医療連携室(FUS治療センター相談・予約窓口)

〒989-2202

宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL 0223-(37)-1131 (代表)

FAX 0223-(37)-5055 (直通)